

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年1月29日（木）

2 確認箇所

K4エリアタンク群（図1）

3 確認項目

- (1) A L P S 处理水希釈放出設備定期点検の状況
- (2) K4エリアタンク群外堀の嵩上げ及び拡張工事の状況

4 確認結果の概要

(1) A L P S 处理水希釈放出設備定期点検の状況

多核種除去設備等処理水（以下「A L P S 处理水」という。）は、海洋放出前に、測定・確認用設備（K4エリアタンク群）に移送され、放射性物質濃度の測定が行われる。測定結果が放出基準を満足していることを確認後、海水で希釈され海洋に放出されている。

本日は、測定・確認用設備（K4エリアタンク群）のうちC群タンクの点検が実施されていることから、点検作業の実施状況について確認した。（前回確認：令和6年9月30日）

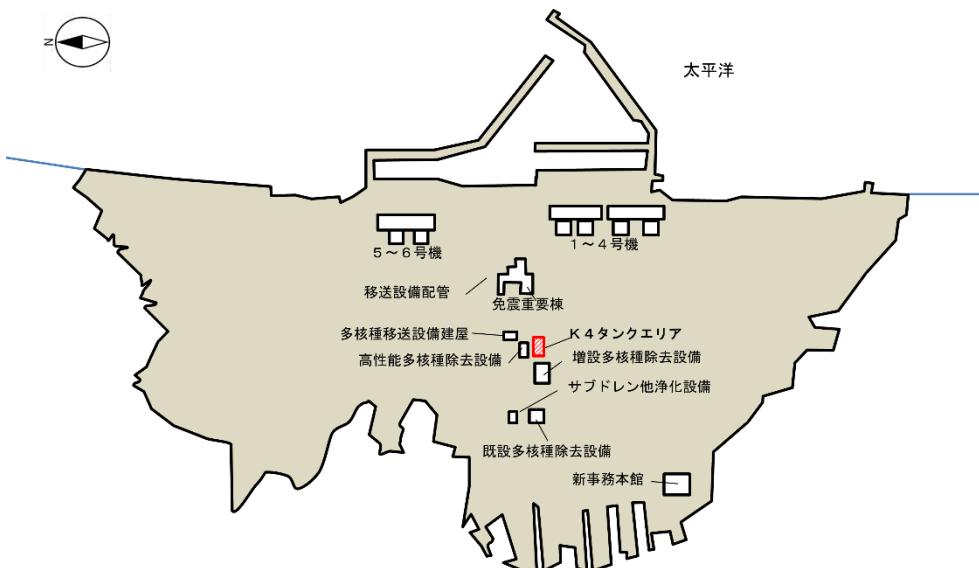
- ・当日は、C群タンクのうちC5タンクにおいて、内部点検のための足場の設置作業が行われていた。（写真1）
- ・タンク入り口には簡易ハウスが設置され、タンク内専用の作業靴への履き替え等による汚染防止対策が施されていた。（写真2）
- ・タンク入り口には『酸素欠乏危険場所作業中』の掲示があり、作業者名、作業時間、酸素濃度等が記載されていた。作業中の酸欠防止対策が適切に施されていた。（写真3）
- ・確認した範囲において、A L P S 处理水の漏えい等はなかった。

(2) K4エリアタンク群外堀の嵩上げ及び拡張工事の状況

A L P S 处理水の測定・確認用設備からの漏えいや、意図しない放出等の異常発生に備えた対策として行われているK4エリアタンク群外堀拡張工事及び外堀嵩上げ工事※の状況を確認した。（前回確認日：令和7年12月4日）

- ・外堀拡張工事は屋根の設置が完了していた。今後、外堀周辺の舗装を行い完成となること。（写真4）
- ・外堀嵩上げ工事は既に完了しているため、現状を確認した。その結果、特に支障は認められなかった。（写真5）

※外堰拡張工事及び外堰嵩上げ工事：地震等により、タンクとタンクを繋ぐ連結弁が破損してALPS処理水が大量に漏えいした場合に備え、堰の貯留可能量を増大させるための工事。ALPS処理水希釀放出設備設置に係る事前了解に際して福島県原子力発電所安全確保技術検討会がとりまとめた8つの要求事項を受けて、東京電力が追加の安全対策として進めている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) K4エリアタンク群



(写真2①) 簡易ハウスの設置状況



(写真2②) 作業用靴の保管状況



(写真3) 酸素欠乏危険場所作業中の掲示



(写真 4①) 外堰拡張工事の状況



(写真 4②) 外堰周辺の未舗装部分



(写真 5①) 外堰の嵩上げ状況



(写真 5②) 接続部の補強状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。